

試験検査成績書

第 4960号

(株) 不二機販

平成 15年 5月 8日

様

食品衛生指定検査 厚生省生衛第893号, 第549号
医薬品指定検査 厚生省発薬第94号指定第71号

社団法人 愛知県薬剤師会
会長 森 公良



検査施設 生活科学センター
〒 456-0034

名古屋市熱田区伝馬二丁目19番18号
TEL (052)683-1131 FAX (052)683-1339

試料の種類名称	酸化チタンコーティングプレートの レジオネラ属菌に対する抗菌効果の検討
試料提出年月日	平成 15年 4月 22日
検査項目	抗菌試験

上記試料に対する検査結果はつぎのとおりです。

別紙報告書のとおり

以下余白

試験報告書

平成15年5月7日

件名 酸化チタンコーティングプレートの

レジオネラ属菌に対する抗菌効果の検討

- 1, 依頼者 (株) 不二機販
- 2, 検体 酸化チタンコーティングプレート
- 3, 試験目的 酸化チタンコーティングプレートのレジオネラ属菌に対する抗菌効果をブラックライト照射時において検討した。

4, 試験方法

(1) 試験菌株

Legionella pneumophila (当会分離株)

(2) 使用培地

レジオネラ MWY 寒天培地 (関東化学 (株))

(3) 試験用菌液の調整

試験菌株をレジオネラ MWY 寒天培地で35℃、7日間培養し、滅菌生理食塩水で適宜希釈し、接種用菌液とした。

(4) 試験操作

- ① 滅菌シャーレに検体を入れ、その試験面に接種用菌液0.3mLを接種し、その上に被覆フィルムをかぶせた後、40℃、相対湿度90%以上の条件で、ブラックライトを照射しながら、1及び3時間接触させた。また無加工試料に関してもブランクとして同様の操作を行った。

(社) 愛知県薬剤師会

- ② 1時間後及び3時間後に、検体と被覆フィルムに付着している試験菌液を、別の滅菌シャーレに滅菌リン酸緩衝液を用いて洗い出した。
- ③ 洗い出した菌液をレジオネラ MWY 寒天培地を用いて35℃、5日間培養し菌数を求めた。

5. 試験結果

結果を表1に示した。

表1

	0分後	60分後	180分後
チタンプレート	1.2×10^4	5.0×10^8	検出しない
ブランク		1.2×10^4	8.6×10^9

単位は cfu/mL

以上

以下余白